

学生の確保の見通し等を記載した書類

(九州工業大学・情報工学部)

目次

1. 新設組織の入学定員（編入学定員を含む。）設定の考え方及び定員を充足する見込み	2
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	2
(2) 学生確保の見通しの調査結果	3
(3) 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向	6
(4) 同分野を有する競合校の状況	7
(5) 既設組織の定員充足の状況	10
(6) 学生納付金の金額設定の理由	11
2. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	12
3. 新設組織で養成する人材の社会的要請や人材需要の動向	14
(1) 社会的、地域的な人材需要の動向	14
(2) 人材需要に関するアンケート調査	15

1. 新設組織の入学定員（編入学定員を含む。）設定の考え方及び定員を充足する見込み

（1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

情報工学部は 2018 年度に改組し、現在の 5 学科制（知能情報、情報・通信、知的システム、物理情報、生命化学）となった。その後 2021 年度に完成年度を迎えた時点で、学内で学部教育課程の点検を実施し、主として各学科専門教育および共通教育の問題点を洗い出した。その結果、学生と企業のニーズが必ずしもマッチしていない学科の存在や、入学後の学生のキャリアデザインと教育分野にミスマッチが生じた場合の軌道修正が難しいなどの教育体制の問題点が明らかになった。

●課題 1：受験生の志望に大きな偏りが存在

（平成 30 年改組後の平均入試倍率：1 類 4.3 倍、2 類 3.1 倍、3 類 2.2 倍）

●課題 2：入学後のコース配属時（2 年進級時）、学科定員と学生希望（改組後の平均第 1 志望者数）にミスマッチが存在

- ・入試 1 類 知能情報（定員 93 名：希望者数 144 名）、
情報・通信（定員 93 名：希望者数 55 名）
- ・入試 2 類 知的システム（定員 94 名：希望者数 80 名）
- ・入試 3 類 物理情報（定員 65 名：希望者数 47 名）、
生命化学（定員 65 名：希望者数 80 名）

●課題 3：5 学科の定員に縛られたコース配属のため、学生のニーズにあわせた定員管理、コース配属ができずミスマッチが存在

- ※ 希望しないコースへ配属された学生のモチベーションが低下（類を超えて希望しないコースへの配属も制度的に不可避）
- ※ 他類へのコース配属は一部の学生（2 類）しかできない（入学後、志望変更が生じた学生への対応が不十分）

一方で、本学情報工学部の情報人材が活躍する分野は今後ますます拡大すると考えられる。なかでも、情報技術そのものによって社会を支える分野、半導体や情報通信による社会のインフラを担う分野、ドローンやロボット、モビリティなどの基幹産業分野、創薬やバイオインフォマティクスによって持続可能な社会に貢献する分野を成長 4 分野と位置付け、本学情報工学部による工学と情報学の掛け合わせによる技術を修得した人材をこれらの分野に送り出すことを目標とする。

しかし、これらの 4 分野を従来通り 4 学科として再編した場合、急速に変化する社会の要請と多様な学生の学びの指向に対して柔軟に追従できなくなる恐れがある。また、これらの 4 分野は独立しておらず、基礎科目や応用分野の様々な部分で重なりを持っている。したがって、これらの成長 4 分野を教育課程として設計する場合には、1 学科制とし、科目の共有や、分野融合科目の検討、内部定員の柔軟な変更などを可能にすることが重要である。

上記の課題を解決するため、成長 4 分野を教育課程として設計するために現在の 5 学科体制を 1 学科体制（情報工学科）に再編し、科目の共有や、分野融合科目の検討、内部定員の柔軟な変更などを可能とすることにより、従来の工学人材に加えて、情報技術に特化した人材を求めている様々な産業界への要望に応える。なお、改組後の情報工学科の入学定員については、基礎となる現行の情報工学部 5 学科の実績を踏まえ設定する。

具体的には、「(2) 学生確保の見通しの調査結果」、「(3) 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向」、「(4) 同分野を有する競合校の状況」、「(5) 既設組織の定員充足の状況」において、検討・分析した結果、現在の 5 学科の入学定員数を合計した 410 名を改組後の情報工学科の入学定員とし、定員充足についても十分に充足できる見込みがあると判断できる。

また、3 年次編入学についても「(5) 既設組織の定員充足の状況」を踏まえ、現在の入学定員数の 35 名を改組後の情報工学科の入学定員とし、定員充足についても十分に充足できる見込みがあると判断できる。

(2) 学生確保の見通しの調査結果

改組後の情報工学部が高等学校の生徒のニーズと合致していることとともに、改組後の情報工学部の定員充足の可能性を確認するため、本学部の学生募集活動（オープンキャンパス、ひらめきときめきサイエンス）に参加した受験生等を対象に改組案に対するアンケート調査を行い【資料1】、313名から回答を得ている。アンケートの実施にあたっては、改組構想について説明する資料を配布し、改組の概要と新しい情報工学部の特色を伝え、改組後の制度変更点、受験意向と入学意向などを尋ねた。（質問10～11、13～14）。

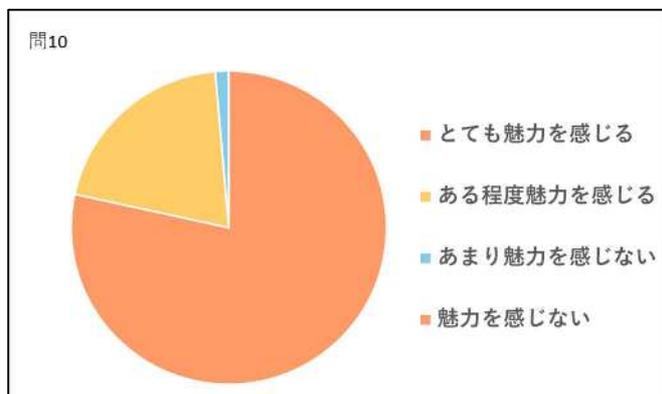
問9) 入学時に、知能情報類、電子情報通信類、知的システム類、生命情報類の何れかの類が決定し、原則として卒業までその類に所属することになります。ただし、希望者には1年次の成績と希望により、2年次に別の類（コース）に進むことも可能となります。このような制度をどう思いますか。



この結果は上記のとおりであり、約97%の者が魅力を感じる（「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計：以下同様）と回答しており、この制度に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

この制度は、『入学後の学生のキャリアデザインと教育分野にミスマッチが生じた場合の軌道修正が難しいなどの教育体制の問題点（希望しないコースへ配属された学生のモチベーションが低下（類を超えて希望しないコースへの配属も制度的に不可避）、他類へのコース配属は、一部の学生（2類）しかできない（入学後、志望変更が生じた学生への対応が不十分）』への対応策であるが、本学の受験を希望する者の多くの割合が制度を好意的に受け止めていることがわかる。

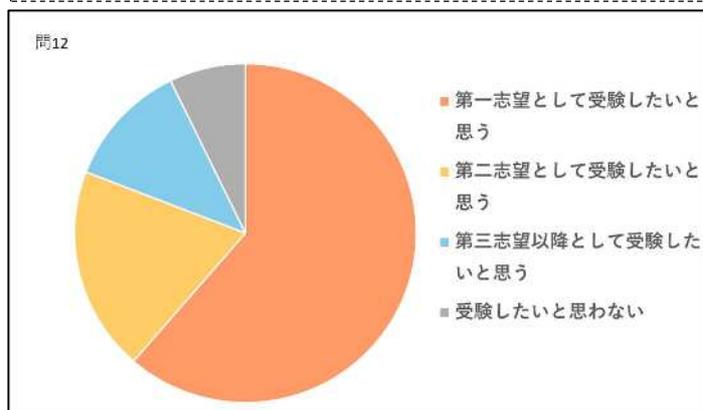
問 10) 情報工学部では、情報と工学専門分野を中心に学びますが、これに加えて、グローバルに活躍するためのスキル、会社起業の入門や新規事業等に関する企画立案の方法を学べる、学際的な学修機会も設ける予定です。このような制度をどう思いますか。



この結果は上記のとおりであり、約98%の者が魅力を感じると回答しており、この制度に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

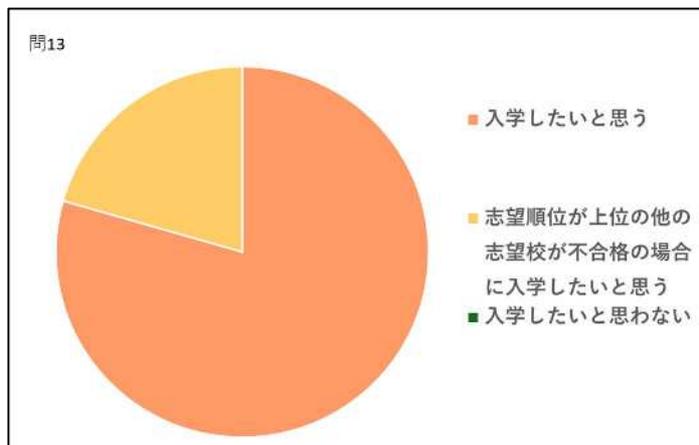
情報工学部では、副プログラムとして「グローバル化人材」「マネジメント・アントレプレナーシップ人材」等を育成する副プログラムを設置する。技術者には技術的な知識だけでなく、広い視野と柔軟な思考が求められ、また、異文化理解とグローバルな視点で問題を解決する能力は、国際プロジェクトや多国籍企業で重要となっている。言語力とコミュニケーション能力も不可欠であり、特に英語は国際共通語として多くの場面で必要である。さらに、経営学や事業創造の知識は新しいビジネスチャンスを見つけ、革新的な製品やサービスを開発するのに役立つ。技術者が多様なスキルを持つことで、柔軟で創造的な問題解決が可能となり、国際的な競争力を持つ人材として成長することが期待される。技術者が多様なスキルを持つことで、より柔軟で創造的な問題解決が可能となり、国際的な競争力を持つ人材として成長することが期待される。本学の受験を希望する者の多くの割合が、この制度を好意的に受け止めていることがわかる。

問 12) 九州工業大学「情報工学部情報工学科（設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。



この結果は上記のとおりであり、約60%が第一志望として、約20%が第二志望として受験したいと回答している。

問 13) 12)で①～③を選択した方に質問です。九州工業大学「情報工学部情報工学科（設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。



この結果は上記のとおりであり、約 80%が入学したいと回答している。

上記のとおり、情報工学部の改組の特色を踏まえた上で、本学部を第一志望又は第二志望で受験したいと思うと回答した者の割合は約 80%であった。また、「合格したら入学したい」と回答した者は約 80%であった。

情報工学部の近年の定員充足状況は、「(5) 既設組織の定員充足の状況」のとおり堅調に推移しているが、今回の改組による制度変更については受験希望者からは魅力的に捉えられていることがわかる。平成 30 年の学部改組より導入している「学部共通教育による MDASH（数理・データサイエンス・AI 教育）の質保障」等を継続するとともに、急速に変化する社会の要請と、学生の多様な学びの指向に対して柔軟に対応できる体制や、文理融合的な学びの場、実践的な情報教育の場を整備することにより、学生の志向に沿った、より質の高い教育を提供することができ、改組後の情報工学部においても十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。

(3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向

令和2年度から令和5年度の福岡県及び全国の18歳人口の推移と、令和6年度から令和12年度までの18歳人口の予測数は【資料2】のとおりである。18歳人口は令和6年度に極小値になり翌年からは増加に転じるが、全国では令和9年度から再び減少傾向となり、令和12年度には令和6年度と比較して4.4%減少する。一方で、福岡県の18歳人口は令和11年度まではほぼ横ばいに推移し、令和12年度から減少に転じていき、令和12年度は令和6年度と比較して2.7%の増加となることが見込まれる。本学の都道府県別の入学者・受験者ともに最も多い県は福岡県であり、令和元年度から令和5年度までの入学者総数4,791名のうち福岡県の出身者は2,194名(45.8%)となっている。また、西日本を中心に広く全国から受験者を集めている。総合型選抜(総合I)が始まった令和3年度から令和6年度までの4年間の志願倍率の推移は【表1】で示すとおりである。人口減少に対応した変動は見られず、十分な志願者を確保している。今後は18歳人口の減少の影響は避けられないと考えられるが、依然として本学の情報工学部に対する志願があり、改組後も安定して学生を確保することが可能であると判断できる。

【表1 九州工業大学・情報工学部の志願倍率状況】

学部	選抜区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
情報工学部	前期日程	2.6 (230)	2.5 (230)	2.5 (230)	2.3 (230)
	後期日程	8.1 (57)	7.7 (57)	8.5 (57)	7.4 (57)
	総合I・II	4.3 (40)	3.6 (40)	3.8 (40)	3.9 (40)
	推薦I	2.6 (83)	2.9 (83)	3.0 (83)	2.6 (83)

志願倍率：志願者数／募集定員

カッコ内は募集定員の合計数を示す

(4) 同分野を有する競合校の状況

理学、工学、情報工学関係のいずれかの学部を有し、近隣（九州北部地方及び山陽地方）に存在する国立大学を競合校として分析を行った。令和6年度入学者選抜状況【表2】を見ると、志願倍率は2.04～4.33、受験倍率は1.57～3.50であり、募集人員に対する充足率は概ね1以上であり、一定以上の志願者、受験者及び入学者を確保できている。

【表2 令和6年度九州北部・山陽地方の国立大学（理・工・情報系）入学者選抜状況】

大学名	学部名	募集人員 (人)	志願者数 (人)	志願 倍率	受験者数 (人)	受験 倍率	合格者数 (人)	入学者数 (人)	充足率
九州工業大学	工学部	531	1,767	3.33	1,260*	2.37	589	558	1.05
	情報工学部	410	1,328	3.24	982*	2.40	442	418	1.02
九州大学	理学部	258	853	3.31	662	2.57	291	283	1.10
	工学部	778	2,449	3.15	1,786	2.30	795	753	0.97
	芸術工学部	187	696	3.72	623	3.33	197	195	1.04
熊本大学	理学部	190	822	4.33	508	2.67	221	196	1.03
	工学部	473	1,128	2.38	860	1.82	509	493	1.04
	情報融合学環	60	231	3.85	210	3.50	69	68	1.13
大分大学	理工学部	395	1,028	2.60	735	1.86	434	397	1.01
佐賀大学	理工学部	510	2,045	4.01	1,310	2.57	566	519	1.02
長崎大学	情報データ科学部	120	380	3.17	280	2.33	136	122	1.02
	工学部	330	946	2.87	689	2.09	368	332	1.01
広島大学	理学部	230	672	2.92	477	2.07	254	234	1.02
	工学部	445	1,021	2.29	810	1.82	473	459	1.03
	情報科学部	150	370	2.47	303	2.02	163	156	1.04
岡山大学	理学部	135	368	2.73	348	2.58	145	142	1.05
	工学部	629	1,282	2.04	1,250	1.99	661	648	1.03
山口大学	理学部	220	852	3.87	560	2.55	261	223	1.01
	工学部	530	1,286	2.43	830	1.57	611	533	1.01

*総合型選抜Ⅰ及び同Ⅱにおける第1段階選抜受験者数を除く

また、本学及び競合校における過去5年間の前期日程の志願者数及び志願倍率の推移を【表3】に示すが、いずれの大学も一定の志願者を確保できており、志願倍率についてもほぼ横ばいで推移していた。

【表3 九州北部・山陽地方の国立大学（理・工・情報系）前期日程の志願者数及び志願倍率の推移】

大学名	学部名	項目	R2	R3	R4	R5	R6
九州工業大学	工学部	志願者数	546	523	507	468	570
		志願倍率	2.3	2.3	2.3	2.1	2.5
	情報工学部	志願者数	514	600	575	581	533
		志願倍率	2.2	2.6	2.5	2.5	2.3
九州大学	理学部	志願者数	488	544	431	517	499
		志願倍率	2.5	2.8	2.2	2.6	2.5
	工学部	志願者数	1,361	1,375	1,389	1,403	1,362
		志願倍率	2.0	2.2	2.2	2.2	2.2
	芸術工学部	志願者数	426	433	454	433	472
		志願倍率	3.3	3.6	3.8	3.6	3.9
熊本大学	理学部	志願者数	299	339	240	261	317
		志願倍率	2.0	2.3	1.6	1.7	2.3
	工学部	志願者数	781	643	660	629	617
		志願倍率	2.3	1.9	2.0	1.9	2.0
	情報融合学環	志願者数	—	—	—	—	171
		志願倍率	—	—	—	—	3.8
大分大学	理工学部	志願者数	884	625	907	553	530
		志願倍率	3.6	2.4	3.5	2.3	2.0
佐賀大学	理工学部	志願者数	924	746	802	688	747
		志願倍率	3.4	2.8	3.0	2.6	2.6
長崎大学	情報データ科学部	志願者数	190	117	179	121	184
		志願倍率	2.7	1.7	2.6	1.6	2.5
	工学部	志願者数	455	468	490	555	516
		志願倍率	2.1	2.1	2.3	2.6	2.5
広島大学	理学部	志願者数	347	326	316	339	322
		志願倍率	2.4	2.3	2.2	2.3	2.2
	工学部	志願者数	873	922	682	890	730
		志願倍率	2.2	2.3	1.7	2.3	1.9
	情報科学部	志願者数	189	204	181	186	229
		志願倍率	2.6	2.8	2.5	2.1	2.5
岡山大学	理学部	志願者数	321	265	281	265	327
		志願倍率	2.8	2.3	2.4	2.3	2.8
	工学部	志願者数	556	862	746	841	868
		志願倍率	2.0	2.0	1.9	2.0	2.0
	環境理工学部	志願者数	293	—	—	—	—
		志願倍率	2.7	—	—	—	—
山口大学	理学部	志願者数	444	379	466	290	358
		志願倍率	3.4	2.9	3.6	2.2	2.8
	工学部	志願者数	734	1,277	493	864	490
		志願倍率	2.3	4.0	1.5	2.7	1.5

また、リクルート進学総研のまとめによる学問分野別の学科、定員数、志願者数及び志願倍率の状況から、本学情報工学部に関連する分野の全国及び九州・沖縄地域のデータを抜粋したものを【表4】に示すが、志願者数は減少している分野があるものの、志願倍率は横ばいまたは増加傾向が見られた。今回の改組においては、情報技術そのものによって社会を支える分野、半導体や情報通信による社会のインフラを担う分野、ドローンやロボット、モビリティなどの基幹産業分野、創薬やバイオインフォマティクスによって持続可能な社会に貢献する分野を成長4分野と位置付けており、競合校の状況及び関連分野の成長度合いから、相当数の志願者を確保できると考えられる。

【表4 関連分野における学科数、定員数、志願者数及び志願倍率*】

区分	分野	年度	全国				九州・沖縄			
			学科数	定員数	志願者数	志願倍率	学科数	定員数	志願者数	志願倍率
工学・建築・技術	システム・制御工学	2023	138	11,034	105,423	9.55	11	621	4,986	8.03
		2022	144	11,892	114,137	9.60	12	781	5,934	7.60
		2015	171	—	—	—	27	1,751	7,831	4.47
	情報工学	2023	244	22,512	258,174	11.47	20	1,874	14,181	7.57
		2022	238	22,145	271,884	12.28	22	2,245	16,198	7.22
		2015	228	—	—	—	29	2,719	12,493	4.59
	通信工学	2023	43	4,273	50,276	11.77	1	74	1,245	16.82
		2022	47	4,404	59,170	13.44	1	74	1,122	15.16
		2015	47	—	—	—	5	392	1,829	4.67
	画像・音響工学	2023	28	1,878	23,423	12.47	1	187	650	3.48
		2022	30	2,103	25,199	11.98	2	337	1,350	4.01
		2015	28	—	—	—	2	74	303	4.09
数学・物理学・化学	数学	2023	104	8,533	71,770	8.41	7	657	2,709	4.12
		2022	97	7,937	65,981	8.31	8	786	3,350	4.26
		2015	88	—	—	—	8	415	2,480	5.98
	物理学	2023	101	8,031	72,706	9.05	7	560	2,672	4.77
		2022	104	8,462	70,418	8.32	8	697	3,083	4.42
		2015	100	—	—	—	10	478	2,516	5.26
	化学	2023	89	7,784	57,488	7.39	9	983	4,125	4.20
		2022	95	8,522	57,862	6.79	10	1,120	4,622	4.13
		2015	79	—	—	—	6	371	2,499	6.74
生物	生物学	2023	152	11,746	84,071	7.16	12	1,255	5,207	4.15
		2022	160	12,321	84,399	6.85	13	1,415	5,758	4.07
		2015	145	—	—	—	13	1,031	3,821	3.71
	生命科学	2023	145	11,547	106,903	9.26	10	999	4,742	4.75
		2022	152	12,283	104,563	8.51	11	1,238	5,905	4.77
		2015	153	—	—	—	12	716	3,423	4.78

*リクルート進学総研 HP を元に作成

【都道府県別×学問分野別】学科・定員数・志願者数の状況 2023

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023_gakumonbunjabetsu_nishi.pdf

【都道府県別×学問分野別】学科・定員数・志願者数の状況 2022

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2022_gakumonbunjabetsu_nishi.pdf

【大学】学問分野別の学科設置状況 全国版 2015年

https://souken.shingakunet.com/research/assets/201602_zenkoku_souken_report.pdf

【都道府県別：九州沖縄】学問分野別の学科設置状況 2015年

https://souken.shingakunet.com/research/assets/201603_kyushuokinawa_souken_report.pdf

(5) 既設組織の定員充足の状況

過去5年間（令和2年度選抜～令和6年度選抜）の情報工学部全体の入学定員充足率は、【表5】で示すとおり1.00～1.02である。多くの志願者数を確保しており、情報工学部のいずれの分野においても、学生の需要は十分にあると考えられる。編入学生についても過去5年間（令和2年度選抜～令和6年度選抜）の情報工学部全体の入学定員充足率は、【表6】で示すとおり1.00～1.34であり、35名の入学定員を充足できている。

また、収容定員充足率は、【表7】で示すとおり1.04～1.06となっており、収容定員を充足できている。

【表5 九州工業大学・情報工学部の入学定員充足状況】

募集単位	選抜年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	区分					
情工1類	募集人員	177	177	177	177	177
	志願者数	669	805	771	767	754
	入学者数	176	179	178	183	178
	入学定員充足率	0.99	1.01	1.00	1.03	1.00
情工2類	募集人員	110	110	110	110	110
	志願者数	290	317	299	364	244
	入学者数	112	114	112	114	113
	入学定員充足率	1.01	1.03	1.01	1.03	1.02
情工3類	募集人員	123	123	123	123	123
	志願者数	288	252	235	240	230
	入学者数	123	126	123	125	127
	入学定員充足率	1.00	1.02	1.00	1.01	1.03
情報工学部 (総合I・第1段階選抜)	志願者数		101	91	105	100
情報工学部 全体	募集人員	410	410	410	410	410
	志願者数	1,247	1,475	1,396	1,476	1,328
	入学者数	411	419	413	422	418
	入学定員充足率	1.00	1.02	1.00	1.02	1.01

※ 総合Iでは、出願時（第1段階選抜時）に志望類は選択せず、第1志望学部を選択させている。なお、総合Iの志願者数は、各類の志願者数には含めていない。

※ 国費等留学生は、志願者数には含めず、入学者数には含む。

【表6 九州工業大学・情報工学部の第3年次編入学定員充足状況】

募集単位	選抜年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	区分					
知能情報工学科	募集人員	7	7	7	7	7
	志願者数	49	56	39	51	39
	入学者数	11	9	7	7	6
	入学定員充足率	1.57	1.28	1.00	1.00	0.85
情報・通信工学科	募集人員	9	9	9	9	9
	志願者数	13	21	33	26	25
	入学者数	11	11	14	10	11
	入学定員充足率	1.22	1.22	1.55	1.11	1.22
知的システム工学科	募集人員	9	9	9	9	9
	志願者数	30	34	27	13	20
	入学者数	15	12	9	7	11
	入学定員充足率	1.66	1.33	1.00	0.77	1.22
物理情報工学科	募集人員	5	5	5	5	5
	志願者数	1	6	8	9	10
	入学者数	5	6	6	5	5
	入学定員充足率	1.00	1.20	1.20	1.00	1.00
生命化学情報工学科	募集人員	5	5	5	5	5
	志願者数	6	12	9	11	19
	入学者数	5	6	6	6	6
	入学定員充足率	1.00	1.20	1.20	1.20	1.20
情報工学部 全体	募集人員	35	35	35	35	35
	志願者数	99	129	116	110	113
	入学者数	47	44	42	35	39
	入学定員充足率	1.34	1.25	1.20	1.00	1.11

※2次募集を含む。

※入学者数には、第2志望及び第3志望による合格者を含む。

【表7 九州工業大学・情報工学部の収容定員充足状況】

学部	区分	R2.5.1	R3.5.1	R4.5.1	R5.5.1	R6.5.1
情報工学部	在籍学生数	1,814	1,808	1,807	1,794	1,795
	入学定員	410	410	410	410	410
	第3年次編入学定員	35	35	35	35	35
	収容定員	1,710	1,710	1,710	1,710	1,710
	収容定員充足率	1.06	1.05	1.05	1.04	1.04

(6) 学生納付金の金額設定の理由

学生納付金の額は、九州工業大学の他の学部（工学部）と同様に、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に定める標準額と同額に設定する。

2. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学案内や入学者選抜要項等の配布をはじめ、高校生向けの進学雑誌・一般広報誌等の紙媒体による広報活動の他、本学ホームページや外部機関の広報用サイト等の電子媒体を活用したPR活動など、積極的な情報提供を行う。

高等学校には直接訪問し、教育・研究内容や進路状況及び入学者選抜に関する情報を伝えるとともに、出前講義の実施により、理科・科学技術への知的好奇心や本学への進路意識の高揚を図っていく。その他、オープンキャンパスや全国から参加できるオンラインによる大学説明会及び個別相談会の開催、主要都市における進学説明会などへ参加し、広報活動を行うこととしている。

具体的には、次の取り組みを実施する。

① 進学説明会

民間企業等主催の高校生・保護者向けの進学説明会に参加する。

令和6年度は、横浜・名古屋・広島・下関・北九州・福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄などの主要都市での開催分に参加した。本学のブースには合計500名の参加者があった。

② 入試説明会

本学主催の高校進路指導教員向けの入試説明会を開催する。

令和6年度は対面で本学戸畑キャンパスと福岡市の2会場で開催し、全国から参加可能なオンライン開催を3回実施した。合計で95校102名の参加者があった。

③ 高校訪問

高校へ出向き大学の概要および入学者選抜に関する説明を行う。

令和5年度は140校へ訪問した。

④ 九州地区国立大学合同説明会

九州地区国立大学合同の大学説明会と個別相談会に参加する。

令和6年度は福岡と鹿児島で開催し、本学の大学説明会に812名、個別相談ブースに163名の参加者があった。

⑤ 出前講義

小・中・高等学校へ出向き出前講義を行う。

令和5年度は139件の出前講義を実施した。

⑥ オープンキャンパス

各学科・研究室の紹介や個別相談のほか、入試説明会等を行う。

令和6年度は、情報工学部が7月13・14日、工学部が8月2・3日に実施し、全体で5,325名が参加した。

⑦ 大学見学

大学構内において、希望する高等学校に対して大学説明、施設・研究室見学、模擬授業等を実施する。

令和5年度の実施件数は21件、779名の参加者があった。

⑧ 予備校での入試説明会

予備校主催の予備校生及び予備校に通う高校生向けの入試説明会に参加する。

令和6年度は122名の参加者があった。

⑨ 高等専門学校等への訪問及び懇談会（説明会）参加

本学主催の第3年次編入学志願者等向けの大学説明会を開催する。

令和5年度は24校に対して全26回の訪問を実施した。

⑩ 夢ナビライブ

2,000校を超える高校生が参加する夢ナビライブ（オンライン開催）に参加する。

令和6年度は研究室訪問・講義動画11講義とコンテンツ配信70講義及び大学説明会2講義に参加し、各企画に、研究室訪問804名、講義動画1,630名、大学説明会187名が参加した。

3. 新設組織で養成する人材の社会的要請や人材需要の動向

「1. (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)」に記載のとおり、今回の改組においては、成長 4 分野に対応する教育課程として、知能情報、電子情報通信、知的システム、生命情報を整備する。また、これまでのほぼ均等割りの学科定員に代えて、知能情報の内部定員をおよそ 1.5 倍に増加させる。これによって、従来の工学人材に加えて、情報技術に特化した人材を求めている様々な産業界への要望に応えることが可能となる。

(1) 社会的、地域的な人材需要の動向

「2021 年 第 6 期科学技術・イノベーション基本計画 閣議決定：Society 5.0 の実現に向けて」によると、下記のとおり述べられている。

① Society 5.0 :

- ・IoT で全ての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会
- ・AI により、必要な情報が必要なときに提供される社会
- ・ロボットや自動走行車などの技術で、人の可能性が広がる社会
- ・イノベーションにより、様々なニーズに対応できる社会

② 実現に必要なもの :

- ・サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能な社会への変革
 - － Beyond 5G、半導体等の次世代技術の整備・開発
- ・新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創造
 - － 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築、データ駆動型研究の推進
- ・新たな社会を支える人材の育成
 - － 多様な課題へ挑戦を実現する教育・人材育成、大学等での多様なカリキュラムやプログラムの提供

また、「2022 年 教育未来創造会議 第一次提言：我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」では、次のとおり述べられている。

① 人材育成を取り巻く課題 :

- ・少子化の進行 (18 歳人口は 2022 年からの 10 年間で 9%減少)
- ・デジタル人材の不足 (2030 年には先端 IT 人材が 54.5 万人不足)

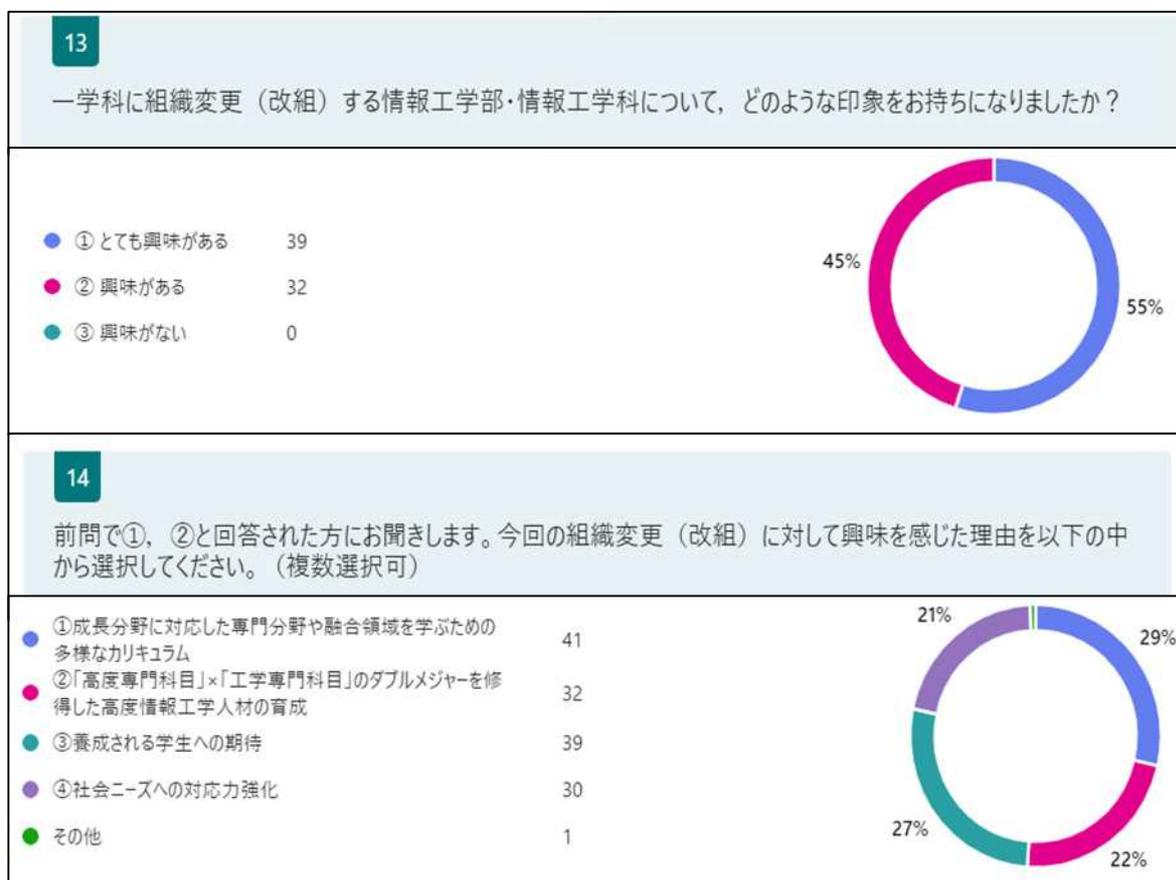
② 基本理念：人への投資を通じた「成長と分配の好循環」を教育・人材育成においても実現

③ 目指したい人材育成：デジタル、人工知能など科学技術や地域振興の成長分野をけん引する高度専門人材の育成

これらの社会的、地域的な人材需要の動向により、本学部が設立以来養成している『「高度情報科目」×「工学専門科目」のダブルメジャーを修得した高度情報工学人材』へのニーズはますます高くなると思われ、「情報」×「工学」を利活用して多様な課題へ挑戦する高度専門人材を、様々な成長分野に輩出していく必要があると考える。

(2) 人材需要に関するアンケート調査

主に本学の卒業生を採用している企業を対象に、改組案に対する関心度等について、アンケート調査を行った【資料3】。その結果、以下のとおり71社から回答があった。



上記のアンケート **13**・**14** により、採用する側の企業でも、本学部の改組を好意的に受け止めており、その理由についての全項目が満遍なく支持されていることがわかる。

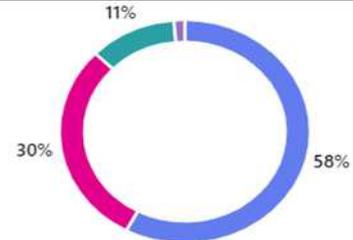
15

情報工学部 情報工学科に設置予定の次の分野を卒業した学生は、貴社・貴団体が求める人材像に適合すると思われますか。 次の分野について、あてはまる番号を1つお選びください。（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

【以下のQ 1 6～Q 1 8も同様】

知能情報分野

● 1 非常に適合する	41
● 2 適合する	21
● 3 ある程度適合する	8
● 4 あまり適合しない	1
● 5 適合しない	0

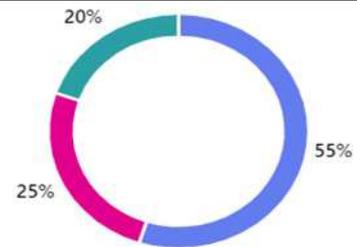


16

（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

電子情報通信分野

● 1 非常に適合する	39
● 2 適合する	18
● 3 ある程度適合する	14
● 4 あまり適合しない	0
● 5 適合しない	0

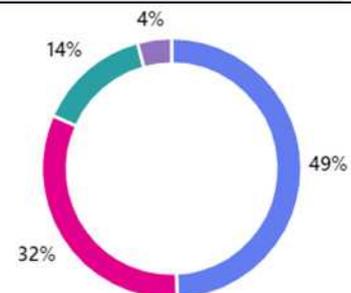


17

（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

知的システム分野

● 1 非常に適合する	35
● 2 適合する	23
● 3 ある程度適合する	10
● 4 あまり適合しない	3
● 5 適合しない	0

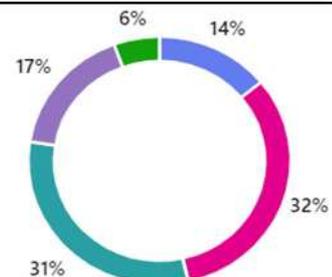


18

（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

生命情報分野

● 1 非常に適合する	10
● 2 適合する	23
● 3 ある程度適合する	22
● 4 あまり適合しない	12
● 5 適合しない	4



上記のアンケート **15** ～ **18** により、改組後に本学部が位置付ける「成長4分野」に対して、多くの企業の求める人材像と適合していることが確認できる。

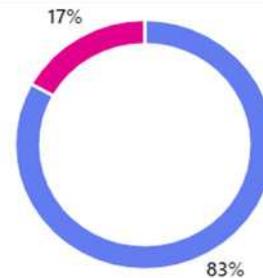
19

情報工学部 情報工学科に設置予定の次の分野を修了した学生の採用意向についてお聞かせください。あてはまる番号を1つお選びください。(①是非採用したい, ②前向きに検討したい, ③あまり検討しない, ④検討しない)

【以下のQ20～Q22も同様】

知能情報分野

● ①是非採用したい	59
● ②前向きに検討したい	12
● ③あまり検討しない	0
● ④検討しない	0

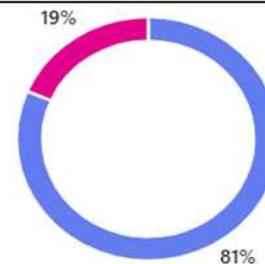


20

(①是非採用したい, ②前向きに検討したい, ③あまり検討しない, ④検討しない)

電子情報通信分野

● ①是非採用したい	57
● ②前向きに検討したい	13
● ③あまり検討しない	0
● ④検討しない	0

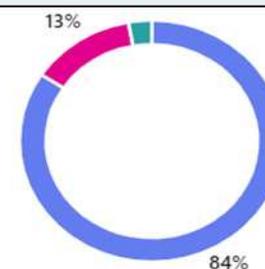


21

(①是非採用したい, ②前向きに検討したい, ③あまり検討しない, ④検討しない)

知的システム分野

● ①是非採用したい	59
● ②前向きに検討したい	9
● ③あまり検討しない	2
● ④検討しない	0

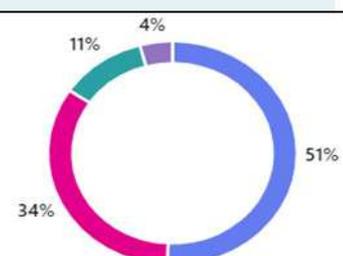


22

(①是非採用したい, ②前向きに検討したい, ③あまり検討しない, ④検討しない)

生命情報分野

● ①是非採用したい	36
● ②前向きに検討したい	24
● ③あまり検討しない	8
● ④検討しない	3



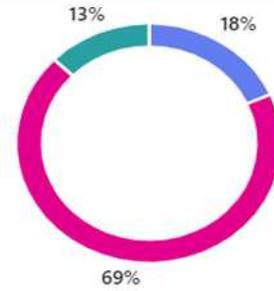
上記のアンケート 19 ～ 22 により、改組後に育成する人材に対して、多くの企業が採用に前向きであることが確認できる。

23

採用にあたり、卒業生に求める能力として、次の項目をどの程度重視しますか？各項目について、あてはまる番号を1つお選びください。(①とても重視する、②重視する、③あまり重視しない、④重視しない)
【以下のQ 2 4～Q 2 8も同様】

専門分野に関する高度な知識・技能

● ①とても重視する	13
● ②重視する	49
● ③あまり重視しない	9
● ④重視しない	0

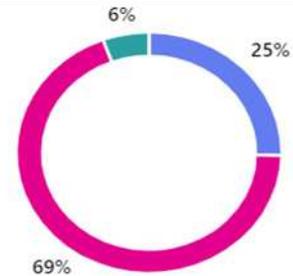


24

(①とても重視する、②重視する、③あまり重視しない、④重視しない)

分野融合を含めた総合的、俯瞰的な視点

● ①とても重視する	18
● ②重視する	49
● ③あまり重視しない	4
● ④重視しない	0



上記のアンケート [23](#)・[24](#) により、多くの企業が、専門分野と同様に、分野融合を含めた総合的・俯瞰的な視点を持つ人材を求めていることが確認でき、改組後の文理融合的な学びの場の提供が求められていることが確認できる。

25

(①とても重視する、②重視する、③あまり重視しない、④重視しない)

情報処理・データ分析能力

● ①とても重視する	20
● ②重視する	50
● ③あまり重視しない	1
● ④重視しない	0



26

(①とても重視する、②重視する、③あまり重視しない、④重視しない)

グローバル対応力、語学力

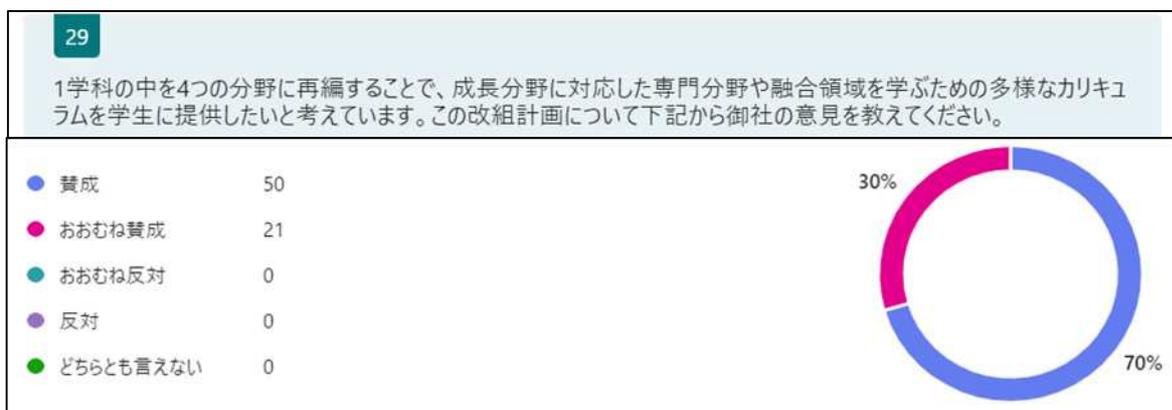
● ①とても重視する	5
● ②重視する	24
● ③あまり重視しない	37
● ④重視しない	5



上記のアンケート **25**・**26** により、本学部が養成する情報処理・データ分析能力に秀でた学生が求められていることがわかる。一方で、グローバル対応力・語学力については、約4割の企業が重要と答えており、約半数の企業が理系学部であっても語学力を求めていることがわかる。



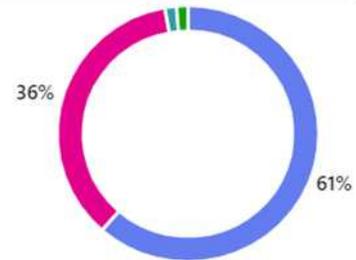
上記のアンケート **27**・**28** で求められる能力は、改組に伴う数理・データサイエンス・AI教育の見直しによる「より実践的なPBL (Project Based Learning。問題・課題解決型学習) 科目」が有効であると考えられる。



30

現在の情報工学部の入試制度と教育課程では、学部2年次に専門分野を決定することになっておりますが、そのときに希望と実際のミスマッチが一部発生しています。そのため、入学時に受験生が選択した専門分野を学ぶことをある程度保証する入試に変更したいと考えています。
この変更について下記から御社の意見を教えてください。

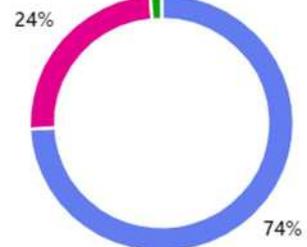
● 賛成	43
● おおむね賛成	25
● おおむね反対	1
● 反対	0
● どちらとも言えない	1



31

上記と合わせて、入学後に分野変更を希望する学生にも柔軟に対応するため、入学後に他の専門分野への移籍が可能となる「分野横断コース配属枠」も設定したいと思えます。
この制度について下記から御社・御校の意見を教えてください。

● 賛成	52
● おおむね賛成	17
● おおむね反対	0
● 反対	0
● どちらとも言えない	1



上記のアンケート [29](#) ~ [31](#) により、改組による分野の再編と改組後の教育方法、及び、学生のキャリアデザインと教育分野のミスマッチの解消が、受験生のみならず企業側からも支持されていることがわかる。

【まとめ】

以上の結果から、情報工学部情報工学科で実施する分野再編、入試・配属制度再編、教育方法再編が、多くの学生や企業から支持を受けていると言える。

また、Society 5.0 の実現やデジタル人材不足という社会的背景、及び、近年の情報工学部の入試倍率や求人倍率（平均求人社数：知能情報 379 社，情報・通信 403 社，知的システム 382 社，物理情報 288 社，生命化学 152 社。5 学科共通で届いた求人は除く）を鑑みると、学生は十分に確保できると判断する。

学生の確保の見通し等を記載した書類

(九州工業大学・情報工学部)

資料目次

資料 1	受験生等を対象とした改組案に対するアンケート調査.....	2
資料 2	年度別福岡県及び全国の18歳人口推移.....	10
資料 3	企業を対象とした改組案に対するアンケート調査.....	11

受験生等を対象とした改組案に対するアンケート調査

(国立)九州工業大学 情報工学部の組織変更(改組)に関するアンケート

九州工業大学では、令和8年(2026年)4月に、情報工学部の組織変更(改組)を計画しています。このアンケートは、受験予定の皆さんから、進学に関する考え方や大学で学びたいことなどのご意見を収集し、九州工業大学の教育を向上させるための参考資料として活用させていただくものです。アンケートで得た情報は、上記の目的のための統計資料として活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答内容によって皆さんに不利益が生じることもありません。ぜひアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートに回答したことがある方は、回答不要です。

※必須

1. 最初にあなたのことについてお聞きします。

- 1) 大学の受験時期を教えてください。※
 - ① 今年度(現在高校3年生等)
 - ② 来年度(現在高校2年生等)
 - ③ 2年後(現在高校1年生等)
 - ④ その他(保護者・教員など)

- 2) お住まいの都道府県を教えてください。※
 - ① 山口県
 - ② 福岡県
 - ③ 大分県
 - ④ 佐賀県
 - ⑤ 長崎県
 - ⑥ 熊本県
 - ⑦ 鹿児島県
 - ⑧ 宮崎県
 - ⑨ 沖縄県
 - ⑩ その他()

- 3) あなたが所属する高校の学科を教えてください。※
 - ① 普通科
 - ② 総合学科
 - ③ 理数科
 - ④ 工業科
 - ⑤ 情報科
 - ⑥ その他()

- 4) あなたが所属している、または、進級を希望しているクラス・コースを教えてください。(複数選択可) ※
- ① 理系クラス・コース
 - ② 文系クラス・コース
 - ③ 文理融合クラス・コース
 - ④ 未定
 - ⑤ その他 ()

2. 今回参加されているイベントについてお聞きます。

- 5) 下記のうち、参加したことがあるイベント名を選択してください。(複数選択可) ※
- ① オープンキャンパス
 - ② 高校訪問 ※高校等での説明会(オンラインを含む)
 - ③ 大学見学 ※九州工業大学での説明会
 - ④ 企業主催の進学説明会
 - ⑤ 九州地区国立大学合同説明会(会場:エルガーラホール or Li-ka 南国ホール)
 - ⑥ 【オンライン】大学説明会/入学者選抜説明会
 - ⑦ 【オンライン】個別受験相談会
 - ⑧ 【オンライン】総合型・学校推薦型選抜志願者向けワークショップ/グループワーク模擬体験
 - ⑨ その他 ()

3. 高校等卒業後の進路や興味のある学びについてお聞きます。

- 6) 高校等卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか。以下の項目から選択してください。(複数選択可) ※
- ① 大学に進学 → 8)へ
 - ② 短期大学、専門職大学、専門職短期大学に進学 → 8)へ
 - ③ 専門学校に進学 → 9)へ
 - ④ 就職 → 9)へ
 - ⑤ 未定 → 9)へ
 - ⑥ その他 → 9)へ
- 7) 6)で①・②を選択した方に質問です。現時点であなたが進学を希望する大学は次のどれに当てはまりますか。(複数選択可) ※
- ① 国立 → 9)へ
 - ② 公立 → 9)へ
 - ③ 私立 → 9)へ
- 8) 高校等卒業後、学びたいと考えている(興味のある)学問分野を次の中から選択してください。(複数選択可) ※
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください)
- ① 情報工学(知能情報:知能情報学・データサイエンス・メディア情報学・ソフトウェア情報学)
 - ② 情報工学(電子情報通信:ネットワーク・コンピュータ工学・エレクトロニクス)
 - ③ 情報工学(知的システム:ロボティクス・システム制御・機械システムデザイン)
 - ④ 情報工学(生命情報:生命情報学・医用情報工学・環境情報工学)

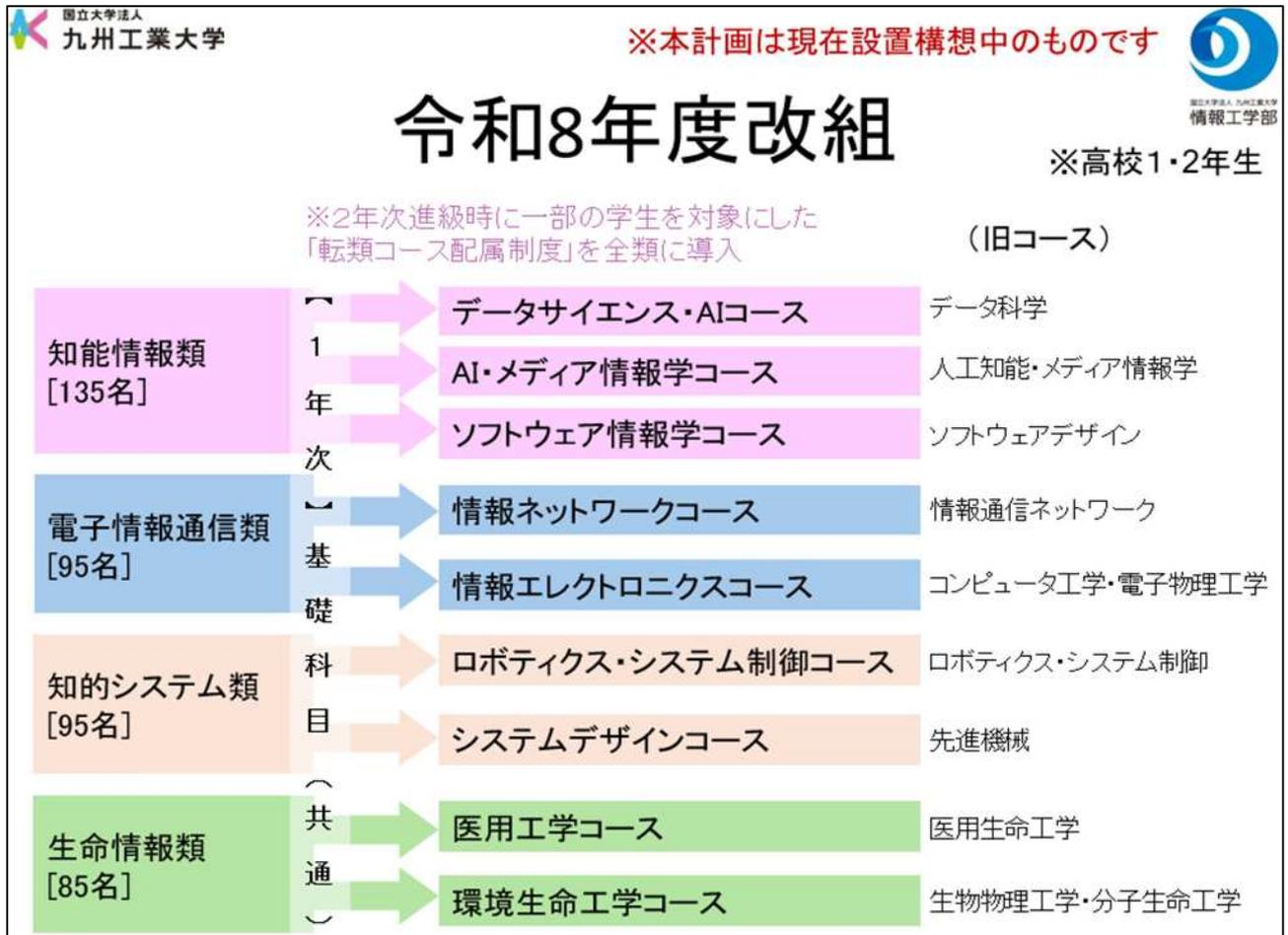
4. 九州工業大学「情報工学部情報工学科（設置構想中）」についてお聞きします。

令和8年(2026年)4月に、「入試分類：情工1～3類」・「2年次進級：5学科（知能情報工学科／情報・通信工学科／知的システム工学科／物理情報工学科／生命化学情報工学科）」を、「入試分類：知能情報類／電子情報通信類／知的システム類／生命情報類」・「1学科（情報工学科）」にし、研究分野（コース）の再構築および教育プログラムの充実化をおこなうことを構想しています。

ここからは、九州工業大学「情報工学部」の組織変更（改組）に関する資料※を見てからお答えください。

※資料は、以下の表または大学ホームページ（以下 URL 参照）をご覧ください。

<https://www.kyutech.ac.jp/whats-new/important/entry-10713.html>



九州工業大学「情報工学部情報工学科（設置構想中）」には、以下のような特色があります。あなたはどの程度魅力を感じますか。

9) 入学時に、知能情報類、電子情報通信類、知的システム類、生命情報類の何れかの類が決定し、原則として卒業までその類に所属することになります。ただし、希望者には1年次の成績と希望により、2年次に別の類（コース）に進むことも可能となります。このような制度をどう思いますか。※

- ① とても魅力を感じる
- ② ある程度魅力を感じる
- ③ あまり魅力を感じない
- ④ 魅力を感じない

10) 情報工学部では、情報と工学専門分野を中心に学びますが、これに加えて、グローバルに活躍するためのスキル、会社起業の入門や新規事業等に関する企画立案の方法を学べる、学際的な学修機会も設ける予定です。このような制度をどう思いますか。※

- ① とても魅力を感じる
- ② ある程度魅力を感じる
- ③ あまり魅力を感じない
- ④ 魅力を感じない

11) 組織変更後のコースについて、どのような内容を学ぶのかわかりにくいコース名称があれば、選択してください。(複数選択可) ※

- ① 知能情報類 データサイエンス・AI コース
- ② 知能情報類 AI・メディア情報学コース
- ③ 知能情報類 ソフトウェア情報学コース
- ④ 電子情報通信類 情報ネットワークコース
- ⑤ 電子情報通信類 情報エレクトロニクスコース
- ⑥ 知的システム類 ロボティクス・システム制御コース
- ⑦ 知的システム類 システムデザインコース
- ⑧ 生命情報類 医用工学コース
- ⑨ 生命情報類 環境生命工学コース

12) 九州工業大学「情報工学部情報工学科(設置構想中)」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。※

- ① 第一志望として受験したいと思う → 14)へ
- ② 第二志望として受験したいと思う → 14)へ
- ③ 第三志望以降として受験したいと思う → 14)へ
- ④ 受験したいと思わない → こちらでアンケートは終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

13) 12)で①～③を選択した方に質問です。九州工業大学「情報工学部情報工学科(設置構想中)」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。※

- ① 入学したいと思う
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したいと思う
- ③ 入学したいと思わない

アンケートは以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

Q1 大学の受験時期を教えてください	回答数	%
①今年度（現在高校3年生等）	82	26.2%
②来年度（現在高校2年生等）	108	34.5%
③2年後（現在高校1年生等）	56	17.9%
④その他（保護者・教員など）	67	21.4%
集計母数	313	100%

Q2 お住まいの都道府県を教えてください。	回答数	%
①山口県	12	3.8%
②福岡県	224	71.6%
③大分県	22	7.0%
④佐賀県	5	1.6%
⑤長崎県	9	2.9%
⑥熊本県	5	1.6%
⑦鹿児島県	10	3.2%
⑧宮崎県	6	1.9%
⑨沖縄県	5	1.6%
⑩その他	15	4.8%
集計母数	313	100%

Q3 あなたが所属する高校の学科を教えてください。	回答数	%
①普通科	231	77.5%
②総合学科	7	2.3%
③理数科	15	5.0%
④工業科	11	3.7%
⑤情報科	13	4.4%
⑥その他	21	7.0%
集計母数	298	100%

Q4 あなたが所属している、または、進級を希望しているクラス・コースを教えてください。（複数選択可）	回答数	%
①理系クラス・コース	248	83.8%
②文系クラス・コース	2	0.7%
③文理融合クラス・コース	16	5.4%
④未定	17	5.7%
⑤その他	13	4.4%
集計母数	296	100%

Q5 下記のうち、参加したことがあるイベント名を選択してください。	回答数	%
①オープンキャンパス	235	60.4%
②高校訪問 ※高校等での説明会（オンラインを含む）	47	12.1%
③大学見学 ※九州工業大学での説明会	29	7.5%
④企業主催の進学説明会	1	0.3%
⑤九州地区国立大学合同説明会	8	2.1%
⑥【オンライン】大学説明会／入学者選抜説明会	37	9.5%
⑦【オンライン】個別受験相談会	6	1.5%
⑧【オンライン】総合型・学校推薦型選抜志願者向けワークショップ／グループワーク模擬体験	14	3.6%
⑨その他	12	3.1%
集計母数	389	100%

Q6 高校等卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか。以下の項目から選択してください。（複数選択可）	回答数	%
①大学に進学	273	91.0%
②短期大学、専門職大学、専門職短期大学に進学	7	2.3%
③専門学校に進学	3	1.0%
④就職	3	1.0%
⑤未定	8	2.7%
⑥その他	6	2.0%
集計母数	300	100%

Q7 6)で①・②を選択した方に質問です。現時点であなたが進学を希望する大学は次のどれに当てはまりますか。（複数選択可）	回答数	%
①国立	267	69.9%
②公立	86	22.5%
③私立	29	7.6%
集計母数	382	100%

Q8 高校等卒業後、学びたいと考えている（興味のある）学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）	回答数	%
①情報工学(知能情報：知能情報学・データサイエンス・メディア情報学・ソフトウェア情報学)	139	39.0%
②情報工学(電子情報通信：ネットワーク・コンピュータ工学・エレクトロニクス)	75	21.1%
③情報工学(知的システム：ロボティクス・システム制御・機械システムデザイン)	43	12.1%
④情報工学(生命情報：生命情報学・医用情報工学・環境情報工学)	99	27.8%
集計母数	356	100%

Q9 入学時に、知能情報類、電子情報通信類、知的システム類、生命情報類の何れかの類が決定し、原則として卒業までその類に所属することになります。ただし、希望者には1年次の成績と希望により、2年次に別の類（コース）に進むことも可能となります。このような制度をどう思いますか。	回答数	%
①とても魅力を感じる	158	55.8%
②ある程度魅力を感じる	119	42.0%
③あまり魅力を感じない	6	2.1%
④魅力を感じない	0	0.0%
集計母数	283	100%

Q10 情報工学部では、情報と工学専門分野を中心に学びますが、これに加えて、グローバルに活躍するためのスキル、会社起業の入門や新規事業等に関する企画立案の方法を学べる、学際的な学修機会も設ける予定です。このような制度をどう思いますか。	回答数	%
①とても魅力を感じる	229	78.4%
②ある程度魅力を感じる	59	20.2%
③あまり魅力を感じない	4	1.4%
④魅力を感じない	0	0.0%
集計母数	292	100%

Q11 組織変更後のコースについて、どのような内容を学ぶのかわかりにくいコース名称があれば、選択してください。（複数選択可）	回答数	%
①知能情報類 データサイエンス・AI コース	32	10.7%
②知能情報類 AI・メディア情報学コース	32	10.7%
③知能情報類 ソフトウェア情報学コース	21	7.0%
④電子情報通信類 情報ネットワークコース	16	5.4%
⑤電子情報通信類 情報エレクトロニクスコース	94	31.5%
⑥知的システム類 ロボティクス・システム制御コース	23	7.7%
⑦知的システム類 システムデザインコース	32	10.7%
⑧生命情報類 医用工学コース	20	6.7%
⑨生命情報類 環境生命工学コース	28	9.4%
集計母数	298	100%

Q12 九州工業大学「情報工学部情報工学科（設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。	回答数	%
①第一志望として受験したいと思う	170	61.4%
②第二志望として受験したいと思う	54	19.5%
③第三志望以降として受験したいと思う	33	11.9%
④受験したいと思わない	20	7.2%
集計母数	277	100%

Q13 12)で①～③を選択した方に質問です。九州工業大学「情報工学部 情報工学科（設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あ なたの気持ちに近いものを一つ選んでください。	回答数	%
①入学したいと思う	201	79.4%
②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学したいと思う	52	20.6%
③入学したいと思わない	0	0.0%
集計母数	253	100%

年度別福岡県及び全国の18歳人口推移

1. 平成30年度～令和4年度福岡県及び全国の18歳人口推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
福岡県	男	24,610	23,481	23,684	23,009
	女	24,188	22,689	22,884	22,263
	計	48,798	46,170	46,568	45,272
全 国	男	593,000	575,000	568,000	546,000
	女	563,000	543,000	539,000	518,000
	計	1,157,000	1,118,000	1,107,000	1,064,000

出典：「人口推計」（総務省統計局），福岡県オープンデータサイト

その年の10月1日現在18歳の日本人人口（ただし，福岡県の令和2年度は11月1日現在の日本人人口）

2. 令和6年度～令和12年度福岡県及び全国の18歳人口見込み数

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	R12/R6 比 (%)
福岡県	男	22,839	23,461	23,848	23,632	23,920	24,299	23,349	102.2
	女	21,788	22,755	23,102	22,778	22,862	22,864	22,484	103.2
	計	44,627	46,216	46,950	46,410	46,782	47,163	45,833	102.7
全 国	男	544,000	549,000	552,000	542,000	539,000	534,000	519,000	95.4
	女	517,000	521,000	525,000	515,000	512,000	507,000	495,000	95.7
	計	1,061,000	1,070,000	1,076,000	1,057,000	1,051,000	1,041,000	1,014,000	95.6

17歳人口 16歳人口 15歳人口 14歳人口 13歳人口 12歳人口 11歳人口

出典：「人口推計」（総務省統計局），福岡県オープンデータサイト

令和5年度10月1日現在を基準に令和6年度から令和12年度の18歳人口（日本人人口）の見込み数

企業を対象とした改組案に対するアンケート調査

九州工業大学の組織変更（改組）に関するアンケート

九州工業大学では、令和8年(2026年)4月に、工学部、情報工学部及び生命体工学研究科の組織変更（改組）を計画しています。組織変更（改組）に関する資料※をご一読の上、貴社・貴団体の関心度等について、以下のアンケート調査にご協力お願いいたします。なお、アンケート結果は情報の秘匿性を確保した上で、組織変更（改組）及び教育向上のための参考資料として活用させていただきます。また、組織変更（改組）の内容は変更の可能性があります、流布しないよう、ご留意いただけますと幸いです。※組織変更（改組）に関する資料は、工学部、情報工学部及び生命体工学研究科の質問の冒頭でお知らせしております。

1

アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお答えください。（あてはまる番号1つ選択）*

- ①採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- ②採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- ③採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
- その他

①採用の決裁権があり、選考にかかわっている	12
②採用の決裁権はないが、選考にかかわっている	54
③採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある	4
その他	1

2

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(1)【本社（本部）所在地】：都・道・府・県

12回答者 (17%) この質問に 回答しました。

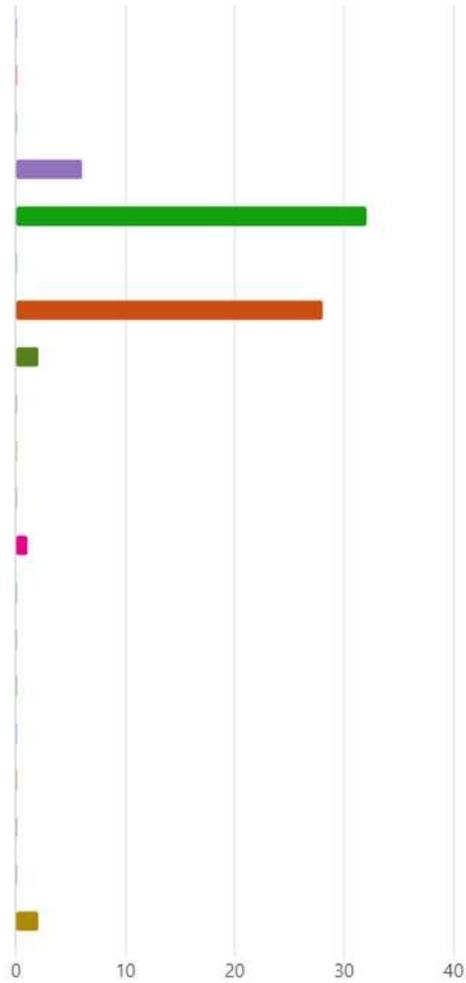
長崎県 静岡県 兵庫県 熊本県 岩手県
 愛知県 大阪府 福岡県 神奈川県 山口県
 株式会社西部技研 本社所在地 本社 東京都 東京都渋谷区道玄坂1-21-1
 大分県 広島 宮崎県

3

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(2)【業種】(あてはまる番号1つを選択)：

- 1) 農業, 林業 0
- 2) 漁業 0
- 3) 鉱業, 採石業, 砂利採取業 0
- 4) 建設業 6
- 5) 製造業 32
- 6) 電気・ガス・熱供給・水道業 0
- 7) 情報通信業 28
- 8) 運輸業, 郵便業 2
- 9) 卸売業, 小売業 0
- 10) 金融業, 保険業 0
- 11) 不動産業, 物品賃貸業 0
- 12) 学術研究, 専門・技術サービス業 1
- 13) 宿泊業, 飲食サービス業 0
- 14) 生活関連サービス業, 娯楽業 0
- 15) 教育, 学習支援業 0
- 16) 医療, 福祉 0
- 17) 複合サービス事業 0
- 18) サービス業 (他に分類されないもの) 0
- 19) 公務 (他に分類されるものを除く) 0
- その他 2

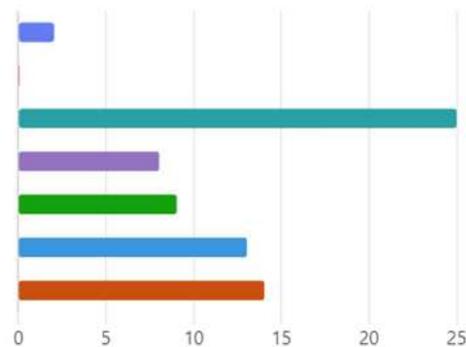


4

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(3)【従業者数】(あてはまる番号1つを選択)：

- 1) 50人未満 2
- 2) 50人～100人未満 0
- 3) 100人～500人未満 25
- 4) 500人～1,000人未満 8
- 5) 1,000人～2,000人未満 9
- 6) 2,000人～5,000人未満 13
- 7) 5,000人以上 14



5

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(4)【事業所数】:

6回答者 (8%) この質問に 回答しました。



6

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(5)【ここ数年間の正社員の採用数】: 過去3 年間 平均 名程度

10回答者 (14%) この質問に 回答しました。



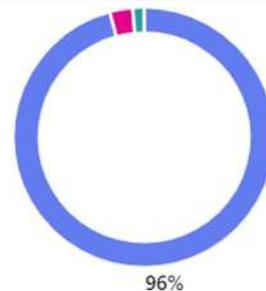
7

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(6)【九州工業大学または九州工業大学大学院出身者の採用の有無】:

- 有
- 無
- 判らない

● 有	68
● 無	2
● 判らない	1



(情報工学部に関する質問)

ここからは、情報工学部に関するアンケートです。

以下の組織変更（改組）資料をご一読いただき、ご回答ください。

九州工業大学 情報工学部 令和8年度改組の概要

情報工学部では、情報工学部に関連した社会動向とニーズを踏まえ、「情報」×「工学」(ダブルメジャー)を利活用して多様な課題へ挑戦する高度専門人材を、様々な成長分野に輩出することを目指し、2026(令和8)年4月に改組を行います。

改組のポイント

1: 情報工学部の一学科化

・ 産業分野の需要の変化、成長分野の変化、学生の志望数変化を反映させて、専門分野の定員変更、分野再編を柔軟に実施

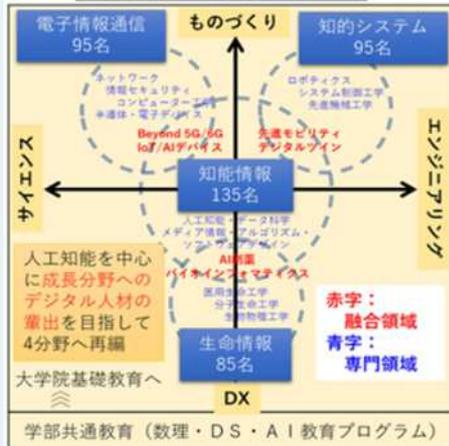
2: 現在5学科の専門分野(知能情報、情報・通信、知的システム、物理情報、生命化学情報)を、「知能情報」、「電子情報通信」、「知的システム」、「生命情報」の4分野に集約・再編成

・ 専門分野の壁(外殻)を取り払い、成長分野に対応した融合領域の形成
 ・ 成長分野をけん引する人材育成を行うため、GEプログラム、MDASHプログラム、専門プログラム、副プログラムの組み合わせで、学生に多様なカリキュラムを提供

3: 入試制度を、現在の「5学科3類入試」から「1学科4類入試」へ変更

・ 入学時に選択した専門分野の修学を保証
 ・ 自由度の高いコース配属(分野横断コース配属枠を設置)し、入学後に分野変更を希望する学生に対応し、ミスマッチをなくす

専門分野の再編イメージ



改組後の1学科4分野体制

入試分類	1年次	2年次	3年次	4年次
知能情報分野 135名	MDASHプログラム・GEプログラム (1年次のプログラム科目は2年次以降も履修)	データサイエンス・AIコース	AI・メディア情報学コース	ソフトウェア情報学コース
電子情報通信分野 95名		情報ネットワークコース	情報エレクトロニクスコース	ロボティクス・システム制御コース
知的システム分野 95名		システムデザインコース	医用工学コース	環境生命工学コース
生命情報分野 85名				

2年進級時に分野内コース配属と分野横断コース配属を実施

高専生(編入学)

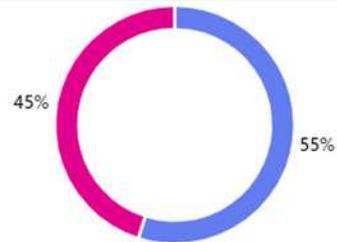
分野	養成したい人材像	コース	キーワード
知能情報	言葉や映像など様々なメディアを通して、人とコンピュータが協調する新しい情報システムを実現できる技術者	データサイエンス・AI	データ科学、情報検索、データベース、データ圧縮、データマイニング、機械学習、人工知能、数理統計、オペレーションズ・リサーチ、最適化、アルゴリズム
		AI・メディア情報学	人工知能、問題解決、探索、知識表現、プランニング、推論、自然言語処理、論理プログラム、知的情報処理、メディア処理、メディア認識、メディア理解、コンピュータグラフィックス、コンピュータビジョン
		ソフトウェア情報学	オペレーティングシステム、ソフトウェア工学、システムモデリング、システム構築技術、情報セキュリティ、プログラミング言語、高信頼・高性能ソフトウェア、組み込みソフトウェア
電子情報通信	情報通信とエレクトロニクスを深く理解し、総合的な情報・工学システムを設計・開発・運用する能力を持つ技術者	情報ネットワーク	Beyond 5G、計算機ネットワーク、モバイルネットワーク、無線通信システム、インターネット、ネットワークアーキテクチャ、ネットワーク管理、コンピュータシステム、コンピュータアーキテクチャ、アルゴリズム、並列・分散システム
		情報エレクトロニクス	半導体工学、LSI設計、AIデバイス、IoTセンサー、超伝導、ナノテクノロジー、物理工学、光物性
知的システム	物理世界と仮想環境を繋ぐことができ、次世代のものづくり、新たなサービスの創出に貢献できる技術者	ロボティクス・システム制御	知的モビリティ・ロボット、デジタルツイン、機械学習、認識工学、ダイナミクス、制御工学、計測工学、信号処理、モデリング、システム最適論、計算力学
		システムデザイン	デジタルツイン、3Dデザイン、機械力学、材料力学、流体力学、熱力学、シミュレーション、画像計測・画像処理、CAD/CAM、精密計測
生命情報	幅広いバイオ分野に情報工学の知識と技術を活用でき、ヒトに関わる新産業分野を構築することができる技術者	医用工学	医用工学、AI創薬、創薬インフォマティクス、医療ビッグデータ解析、バイオインフォマティクス、ゲノム解析、医療画像、バイオセンサ、システム生物学、シミュレーション
		環境生命工学	合成生物学、バイオセンサ、計測機器、ナノテクノロジー、バイオインフォマティクス、ゲノム解析、植物工場、環境バイオテクノロジー、機能性食品開発、バイオ素材開発、環境モニタリング

13

一学科に組織変更（改組）する情報工学部・情報工学科について、どのような印象をお持ちになりましたか？

- ① とても興味がある
- ② 興味がある
- ③ 興味がない

- ① とても興味がある 39
- ② 興味がある 32
- ③ 興味がない 0

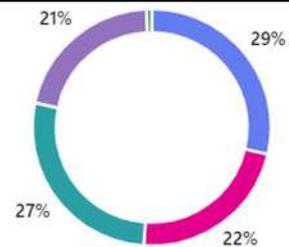


14

前問で①、②と回答された方にお聞きます。今回の組織変更（改組）に対して興味を感じた理由を以下の中から選択してください。（複数選択可）

- ① 成長分野に対応した専門分野や融合領域を学ぶための多様なカリキュラム
- ② 「高度専門科目」×「工学専門科目」のダブルメジャーを修得した高度情報工学人材の育成
- ③ 養成される学生への期待
- ④ 社会ニーズへの対応力強化
- その他

- ① 成長分野に対応した専門分野や融合領域を学ぶための多様なカリキュラム 41
- ② 「高度専門科目」×「工学専門科目」のダブルメジャーを修得した高度情報工学人材の育成 32
- ③ 養成される学生への期待 39
- ④ 社会ニーズへの対応力強化 30
- その他 1



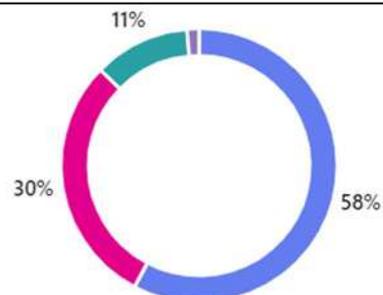
15

情報工学部 情報工学科に設置予定の次の分野を卒業した学生は、貴社・貴団体が求める人材像に適合すると思われませんか。 次の分野について、あてはまる番号を1つお選びください。（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

【以下のQ 1 6～Q 1 8も同様】

知能情報分野

● 1 非常に適合する	41
● 2 適合する	21
● 3 ある程度適合する	8
● 4 あまり適合しない	1
● 5 適合しない	0

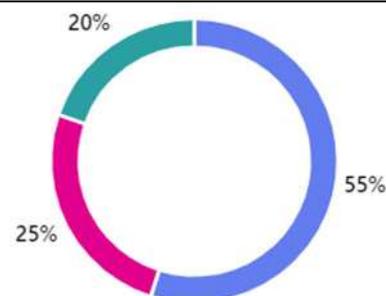


16

（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

電子情報通信分野

● 1 非常に適合する	39
● 2 適合する	18
● 3 ある程度適合する	14
● 4 あまり適合しない	0
● 5 適合しない	0



17

（1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない）

知的システム分野

● 1 非常に適合する	35
● 2 適合する	23
● 3 ある程度適合する	10
● 4 あまり適合しない	3
● 5 適合しない	0

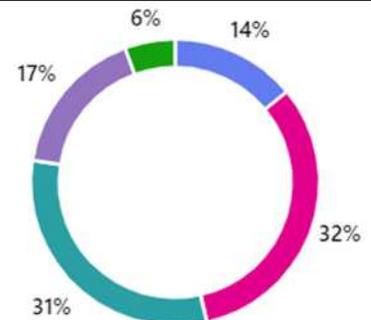


18

(1 非常に適合する、2 適合する、3 ある程度適合する、4 あまり適合しない、5 適合しない)

生命情報分野

● 1 非常に適合する	10
● 2 適合する	23
● 3 ある程度適合する	22
● 4 あまり適合しない	12
● 5 適合しない	4



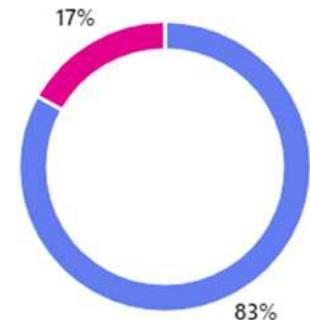
19

情報工学部 情報工学科に設置予定の次の分野を修了した学生の採用意向についてお聞かせください。あてはまる番号を1つお選びください。(①是非採用したい、②前向きに検討したい、③あまり検討しない、④検討しない)

【以下のQ 2 0～Q 2 2も同様】

知能情報分野

● ①是非採用したい	59
● ②前向きに検討したい	12
● ③あまり検討しない	0
● ④検討しない	0

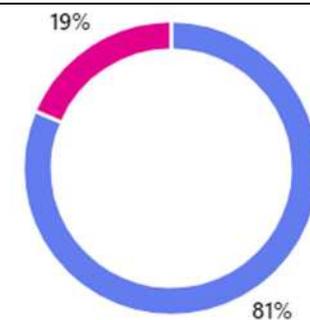


20

(①是非採用したい、②前向きに検討したい、③あまり検討しない、④検討しない)

電子情報通信分野

● ①是非採用したい	57
● ②前向きに検討したい	13
● ③あまり検討しない	0
● ④検討しない	0

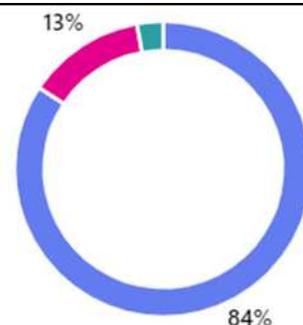


21

(①是非採用したい, ②前向きに検討したい, ③あまり検討しない, ④検討しない)

知的システム分野

● ①是非採用したい	59
● ②前向きに検討したい	9
● ③あまり検討しない	2
● ④検討しない	0

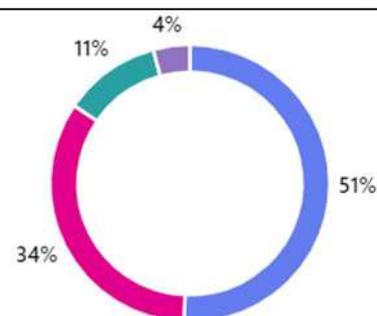


22

(①是非採用したい, ②前向きに検討したい, ③あまり検討しない, ④検討しない)

生命情報分野

● ①是非採用したい	36
● ②前向きに検討したい	24
● ③あまり検討しない	8
● ④検討しない	3



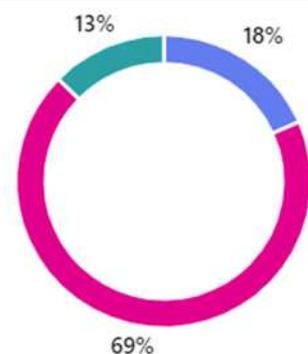
23

採用にあたり、卒業生に求める能力として、次の項目をどの程度重視しますか？各項目について、あてはまる番号を1つお選びください。(①とても重視する, ②重視する, ③あまり重視しない, ④重視しない)

【以下のQ24～Q28も同様】

専門分野に関する高度な知識・技能

● ①とても重視する	13
● ②重視する	49
● ③あまり重視しない	9
● ④重視しない	0

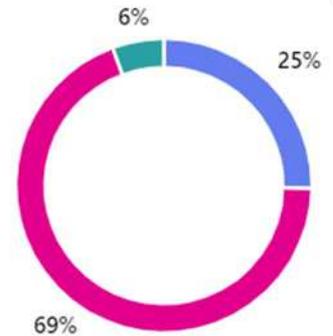


24

(①とても重視する, ②重視する, ③あまり重視しない, ④重視しない)

分野融合を含めた総合的, 俯瞰的な視点

● ①とても重視する	18
● ②重視する	49
● ③あまり重視しない	4
● ④重視しない	0

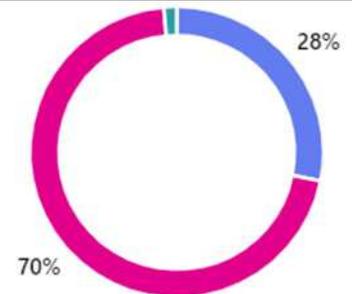


25

(①とても重視する, ②重視する, ③あまり重視しない, ④重視しない)

情報処理・データ分析能力

● ①とても重視する	20
● ②重視する	50
● ③あまり重視しない	1
● ④重視しない	0

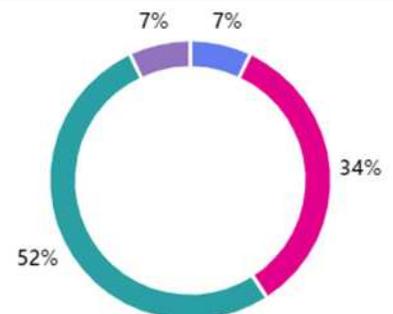


26

(①とても重視する, ②重視する, ③あまり重視しない, ④重視しない)

グローバル対応力, 語学力

● ①とても重視する	5
● ②重視する	24
● ③あまり重視しない	37
● ④重視しない	5

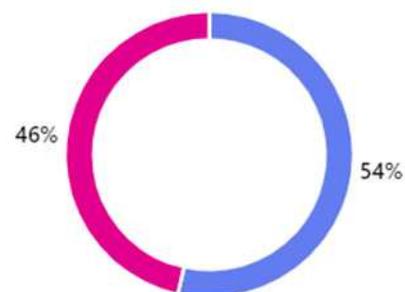


27

(①とても重視する, ②重視する, ③あまり重視しない, ④重視しない)

課題発見・解決能力

● ①とても重視する	38
● ②重視する	33
● ③あまり重視しない	0
● ④重視しない	0

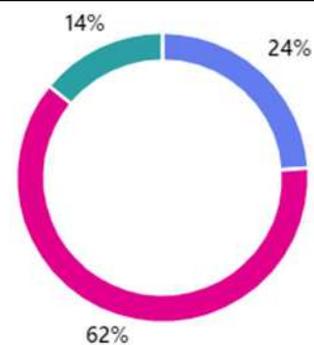


28

(①とても重視する, ②重視する, ③あまり重視しない, ④重視しない)

プロジェクト等のマネジメント能力

● ①とても重視する	17
● ②重視する	44
● ③あまり重視しない	10
● ④重視しない	0

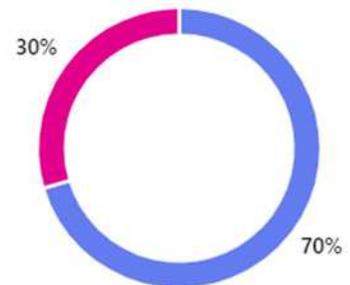


29

1学科の中を4つの分野に再編することで、成長分野に対応した専門分野や融合領域を学ぶための多様なカリキュラムを学生に提供したいと考えています。この改組計画について下記から御社の意見を教えてください。

- 賛成
- おおむね賛成
- おおむね反対
- 反対
- どちらとも言えない

● 賛成	50
● おおむね賛成	21
● おおむね反対	0
● 反対	0
● どちらとも言えない	0

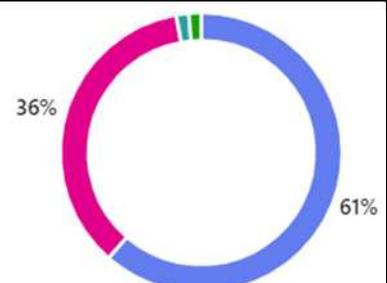


30

現在の情報工学部の入試制度と教育課程では、学部2年次に専門分野を決定することになっておりますが、そのときに希望と実際 mismatches が一部発生しています。そのため、入学時に受験生が選択した専門分野を学ぶことをある程度保証する入試に変更したいと考えています。この変更について下記から御社の意見を教えてください。

- 賛成
- おおむね賛成
- おおむね反対
- 反対
- どちらとも言えない

● 賛成	43
● おおむね賛成	25
● おおむね反対	1
● 反対	0
● どちらとも言えない	1



上記と合わせて、入学後に分野変更を希望する学生にも柔軟に対応するため、入学後に他の専門分野への移籍が可能となる「分野横断コース配属枠」も設定したいと思います。
この制度について下記から御社・御校の意見を教えてください。

- 賛成
- おおむね賛成
- おおむね反対
- 反対
- どちらとも言えない

● 賛成	52
● おおむね賛成	17
● おおむね反対	0
● 反対	0
● どちらとも言えない	1

